



令和 8 年 度
新 潟 大 学 経 済 科 学 部
第 3 年 次 編 入 学 学 生 募 集 要 項

新 潟 大 学 経 済 科 学 部

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、新潟大学ホームページ「受験生特設サイト」→「入試情報」→「被災した学生への特別措置」→「新潟大学志願者への入学検定料免除について」をご覧ください。

受験生特設サイト <https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/>



不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等により、本募集要項の内容に変更が生じた場合には、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特にご注意願います。

新潟大学経済科学部ホームページ
<https://www.econ.niigata-u.ac.jp/>



出願等に関する問合せ先

新潟大学経済科学部学務係
〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地
電話 (025) 262-6284 E-mail toki@econ.niigata-u.ac.jp

新潟大学経済科学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育内容・特色

経済科学部は、人文社会科学全体を視野に入れた経済学・経営学の学修の拡大・深化と、課題探究能力の育成により、急速に変化しつつある現代社会において、地域社会の着実な発展に貢献しうる人材を育成します。

これを実現する教育体系として、経済科学部は、従来型の経済学・経営学の2つの分野に加え、日本を含む東アジア地域を中心にグローバルな課題の解決に取り組む人材の育成を目指す「学際日本学プログラム」、地域の実際の課題の解決を多様なステークホルダーと協働しながら主導・実行できる人材の育成を目指す「地域リーダープログラム」の2プログラムを新設し、合計4つのプログラムを編成します。

求める学生像

【経済科学部の求める人物像】

経済科学部では、本学の理念「自律と創生」に基づき、経済学・経営学を中心とする人文社会科学分野の幅広い学識に裏打ちされた課題探究能力をもって、地域社会の着実な発展に貢献することのできる人材の育成を目指し、この目標を実現するに相応しい能力を備えた人物を受け入れます。

1. 経済学・経営学を中心に人文社会科学分野を幅広く学び、地域社会の着実な発展に貢献することを望む人
2. 課題を発見し、その解決のために必要な知識・技能を主体的に学修することができる人
3. 課題に取り組むために他者とすすんで協働する態度をもった人
4. 高等学校教育全般にわたる基礎学力を有するとともに、大学で学修をいっそう深化・拡大することを望む人
5. 高校卒業程度の基礎学力を有し、国語・英語の文章読解力および数学的・論理的思考力を備えている人

【各プログラムの求める人物像】

経済科学部は、所属するプログラムを2年次進級時に決定する「レイト・スペシャライゼーション」の体制をとっています。入学時にはプログラム希望は問いませんが、受験者はのちに所属することになるプログラムについてもおおまかに理解していることを望みます。4つのプログラムはそれぞれ人材育成目標、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を備えており、それに対応したアドミッション・ポリシーを持っています。以下に経済科学部を構成する4つのプログラムの求める人物像を示します。

経済学プログラムの求める人物像

- ・ 社会の多様な問題に強い関心を持ち、課題に向かって主体的に行動できる人
- ・ 経済学の確かな専門知識を身に付けたいと考えている人
- ・ 文系・理系という枠組みを超え、幅広い教養を身に付けたいと考えている人
- ・ 多様性を受け入れ、地域社会や国際社会で活躍する意欲を持っている人

経営学プログラムの求める人物像

- ・ 経営学に関する確かな専門知識および理論を身に付けたい人
- ・ 企業や公的機関といった組織の行動原理について高い関心を有する人
- ・ 総合大学の利点を活かして、経営学のみならず、学際的・国際的視野で幅広い知識を身に付けたい人
- ・ 経営学に関する専門能力を活用して企業や公的機関で活躍したい人
- ・ 国税専門官、税理士、公認会計士といった専門職を志す人

学際日本学プログラムの求める人物像

- ・ 人文社会科学の複数の学問領域を身に付け、日本とアジアが直面する問題を多角的に考えることを望む人
- ・ グローバルな視点から、自らの考えを積極的に発信することを望む人
- ・ 様々な人と「ともに学ぶ」ことを通じて、他者に開かれた粘り強い対話力を身に付けることを望む人

地域リーダープログラムの求める人物像

- ・ 経済学・経営学だけでなく人文社会科学分野の専門知識を身に付け、地域が直面する課題に取り組むことを望む人
- ・ あらゆる物事に対して自律的に取り組む意欲を持つ人
- ・ 社会的課題の解決に高い興味関心を有し、ひいては地域社会を変革していく強い意欲を持つ人

プログラム配属について

第3年次編入学試験の合格者に対し、配属希望プログラムの照会を行い、調整のうえ決定します。なお、決定した配属プログラムについては、入学手続までに通知します。

令和 8 年度新潟大学経済科学部第3年次編入学学生を、次により募集します。

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
総合経済学科	10人

2 出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学士の学位を有する者及び令和 8 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (2) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）附則第 7 条に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者
- (3) 短期大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (4) 高等専門学校を卒業した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上又は 62 単位以上であること）を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (6) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部（以下「高等学校等」という。）の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (7) 修業年限 4 年以上の大学において、2 年次修了以上の学力があると認められた者〔大学に 2 年以上在学（休学期間を除く。）し、62 単位以上の単位を修得した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに同要件を満たす見込みの者（出願時に本学に在学している者は除く）〕
- (8) 外国において、学校教育における 14 年以上の課程を修了し、大学の 2 年次修了以上の学力があると認められた者

(注 1) 出願資格(1)の学士の学位を有する者及び取得見込みの者には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び修了見込みの者を含みます。

(注 2) 出願資格(3)の短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者には、外国の短期大学を卒業した者及び卒業見込みの者並びに外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した者及び修了見込みの者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）を含みます。

(注3) 出願資格(7)の大学には、我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を含みます。

(注4) 出願資格(8)によって出願する者は、出願前に出願資格の確認を行いますので、12ページの14の(3)に従って確認を受けてください。

不明な点は経済科学部学務係に問い合わせてください。

3 出願期間

令和7年11月4日（火）から11月6日（木）まで（必着）

出願書類の提出は、郵送に限ります。必ず「書留速達」にしてください。

(注) 出願期間後に到着したものは受理しません。ただし、11月4日（火）以前の発信局（日本国内）消印のある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

4 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、次の(3)の出願書類等を取りそろえ、新潟大学経済科学部ホームページ

（<https://www.econ.niigata-u.ac.jp/>）から「出願書類提出用封筒宛名」をA4カラー印刷のうえ、必要事項を記入し、市販の角型2号封筒（240mm×332mm）に貼ったものを使用し、(2)の出願書類等提出先に郵送（書留速達）により提出してください。

出願書類の記入に当たっては、「14 注意事項」の(1)出願書類の作成及び提出上の注意を参照してください。

(2) 出願書類等提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学経済科学部学務係

電話（025）262-6284

(3) 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
①編入学志願票 履歴書	経済科学部ホームページ掲載の所定の様式を印刷のうえ、必要事項を記入してください。検定料納入フォームの自動返信メールに記載された「検定料納入の整理番号」を所定欄に記入してください。
②受験票 写真票	経済科学部ホームページ掲載の所定の様式を印刷のうえ、必要事項を記入してください。写真は、縦4センチ×横3センチ、上半身、無帽、正面向きのもので、出願前3か月以内に撮影したものとし、受験票及び写真票の所定欄に貼ってください。 ただし、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。

③検定料 30,000円	出願書類の準備を終えたら、以下のフォームに回答して検定料を納入してください。納入手続きの詳細は、検定料納入フォームの自動返信メールを確認してください。 「検定料納入フォーム」 (https://forms.office.com/r/9xUTi3FT73)  ※振込手数料は志願者負担となります。金額は金融機関で確認してください。 ※検定料の振込は、令和7年10月24日(金)から11月6日(木)〔15:00〕までの期間内に行ってください。 ※振込の際のご依頼人名は、検定料納入フォームの自動返信メールで指定されたものを使用してください。 ※検定料納入の整理番号は、入学志願票の所定欄にも記入してください。
④卒業（見込）証明書	出身大学・短期大学・高等専門学校等の学長（学部長・学校長）が作成したものとしします。 出願資格(7)及び(8)に該当する者は、当該大学の学長（学部長・学校長）が作成した在学証明書又は在学期間証明書を提出してください。
⑤成績証明書	出身大学・短期大学・高等専門学校等の学長（学部長・学校長）が作成し、厳封したものとしします。
⑥TOEIC L&R 又は TOEFL の成績証明書	■TOEIC L&R（TOEIC-IP（団体特別受験制度）を含む。）の場合は、Official Score Certificate（公式認定証）の原本、Digital Official Score CertificateのPDFを印刷したもの又は Score Report の原本を提出してください。 ■TOEFLの場合は、TOEFL-iBT（Home Edition 含む）又はTOEFL-ITP の Score Report の原本を提出してください。 （注） 1) テスト実施日が出願書類提出期限から遡って過去2年以内のものに限ります。 2) 出願時に提出できない場合は、理由書（様式任意）を出願時に提出の上、試験当日までに出願書類提出先に提出してください。期限までに提出されない場合は、失格となります。 3) 上記以外の試験形式は対象としません。

⑦返信用封筒	経済科学部ホームページ掲載の「返信用封筒表紙」をカラー印刷のうえ、郵便番号、住所及び氏名を記入し、市販の長形3号封筒（120mm × 235mm）の表面に貼ったものに、郵便切手410円分を貼って提出してください。
⑧あて名票	経済科学部ホームページ掲載の所定の様式を印刷のうえ、郵便番号、住所及び氏名を記入し提出してください。
⑨出願資格を証明する書類	■出願資格(5)に該当する者は、経済科学部ホームページ掲載の所定の様式を使用し、修了又は修了見込みの専修学校の専門課程が、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であること）を満たすことを証明する書類を提出してください。 ■出願資格(6)に該当する者は、経済科学部ホームページ掲載の所定の様式を使用し、修了又は修了見込みの高等学校等の専攻科の課程が、修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすことを証明する書類を提出してください。
⑩在学期間・単位修得証明書 科目履修証明書	■出願資格(7)及び(8)に該当する者は、経済科学部ホームページ掲載の所定の様式を使用し、「在学期間・単位修得証明書」及び「科目履修証明書（出願時の修得単位数が62単位未満の場合のみ。修得予定の科目名及び単位数が記載されたもの）」を提出してください。

5 編入学者選抜の方法

編入学者の選抜は、学力検査の結果（専門科目並びに外国語、各100点満点）及び出願書類により行います。入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

教 科	科 目 等	備 考
専門科目	経済学、経営学（企業経営及び会計）、学際日本学	2科目選択
外国語	英語（TOEIC Listening & Reading 又は TOEFLの点数を換算）	

※ 学際日本学の試験では、日本の社会・文化に関する基礎的知識と思考力を問う問題を出題します。

※ 外国語（英語）においては、TOEIC Listening & Reading 又は TOEFLのスコアが必要です。ただし、テスト実施日が出願書類提出期限から遡って過去2年以内のものに限ります。

6 試験期日及び時間割

試験期日	科目	時間
令和7年11月22日（土）	専門科目	9:00～10:30

7 試験場

新潟大学人文社会科学系棟〔新潟市西区五十嵐2の町8050番地〕

8 合格者発表

令和7年12月18日（木）午前10時に合格者の受験番号を合格発表webサイト（<https://www.gouhi.com/niigata-u/>）に掲載するとともに、合格者には速達郵便で合格通知書等を送付します。



なお、ホームページへの掲載は、情報提供の一環として行うものですので、必ず合格通知書で確認してください。

可否に関する電話等による問い合わせには、一切応じません。

9 入学手続等

入学手続の概要は、次のとおりです。その詳細については、合格者に2月上旬に発送予定の「入学手続案内」により通知します。

(1) 入学手続期間及び手続方法

令和8年2月17日（火）から2月18日（水）までの期間に郵送（必着）により手続を行ってください。

2月18日（水）までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

(2) 入学手続時に必要な書類等

- ① 入学料 282,000円（予定額）
- ② 本学受験票
- ③ その他の書類「入学手続案内」送付の際に通知します。

10 授業料

年額 535,800円（前期分 267,900円、後期分 267,900円）〔予定額〕

（注1）授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただく予定です。

（注2）授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。

（注3）在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

11 欠員の補充方法

入学手続期間終了後、募集人員に欠員が生じた場合の補充は、追加合格により行います。

追加合格該当者への通知は、令和8年2月19日（木）から、入学志願票に記入してある連絡先に電話等により行います。

追加合格の通知を受けた者は、指定された日時までに入学手続を行ってください。入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

必要ある場合には、欠員補充第2次募集を行います。

12 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学と相談してください。

(1) 相談の期限

令和7年10月3日（金）までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

なお、相談の期限後に、配慮が必要となった者は、至急連絡先に問い合わせてください。

(2) 相談の方法

申請書（所定用紙）を請求の上、医師の診断書等必要書類を添付し、提出してください。必要な場合は、本学において志願者及び関係者等と面談を行います。

(3) 連絡先・申請書請求先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学経済科学部学務係

電話（025）262-6284

13 修学条件等

(1) 入学時期及び修学条件

入学の時期は令和8年4月とします。

入学後2年以上4年以内に新潟大学経済科学部規程に定める授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得した者については、プログラム毎に次の学位を授与します。

- ・経済学プログラム：学士（経済学） ・経営学プログラム：学士（経営学）
- ・学際日本学プログラム：学士（学術） ・地域リーダープログラム：学士（学術）

(2) 既修得単位の取扱い

本学部が開設している授業科目と入学する前に在学した大学、短期大学、高等専門学校等で修得した科目の授業内容が同一と認められるものについては、本学部の定める基準に従って卒業要件単位として認定します。

(3) 在学期間の通算

本学部の修業年限（4年）のうち、2年間を既に在学したものとして通算し、入学後における修業年限は2年、在学することができる年限は4年とします。

14 注意事項

(1) 出願書類の作成及び提出上の注意

- ① 提出書類に記載事項の記入もれその他不備のある場合は、出願書類を受理しないことがあります。
- ② 出願書類提出後は、出願書類の返却及び「連絡先」以外の記載事項の変更を認めません。
- ③ 検定料振込み後、出願期間内に提出しなかった場合は、当該検定料（30,000円）を返還します。検定料の返還については、下記をご参照ください。

<https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/>

なお、返還対象となった日から5年以内に返還の申し出がない場合は、返還請求を辞退したものとさせていただきます。

- ④ 出願書類は、黒のボールペンを用いて楷書で記入してください。数字は算用数字で記入してください。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載内容があった場合は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 編入学志願票と受験票の内容が異なっている場合は、編入学志願票の記載事項を正として取り扱います。
- ⑦ 外国語で作成された書類には、日本語による訳文を添付してください。
- ⑧ 「2 出願資格」で、所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、令和8年3月31日までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。

(2) 受験に際しての注意事項

- ① 受験の際は、「新潟大学経済科学部第3年次編入学受験票」を携帯してください。
- ② 筆記試験の筆記用具等は、黒鉛筆（シャープペンシルを含む）、鉛筆キャップ、鉛筆削り（電動式を除く）、消しゴムとし、それ以外は使用できません。
- ③ 時計の使用は、計時機能だけのものに限りします。
- ④ 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（出願後の不慮の事故等により、試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、10ページ「12 障がい等を有する入学志願者の事前相談」を参照してください。）

ケ 「解答やめ。筆記用具を置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

- ⑤ その他受験に際しての詳細は、11月7日（金）に発送する「受験案内」を熟読してください。

(3) 出願資格の確認

出願資格(8)によって出願する者は、出願前に出願資格の確認を行いますので、次の書類等を、令和7年10月10日（金）までに下記②あてに提出してください。

なお、大学あて封筒の表に「第3年次編入学出願資格確認書類在中」と明記してください。

① 出願資格の確認に必要な書類等

- ・「出願資格確認書」…経済科学部ホームページ掲載の所定の様式を使用してください。
- ・「卒業（修了）証明書（写）又は同見込証明書（写）」

…最終出身学校のものを出願してください。（必ず、日本語訳を添付してください。）

- ・「学業成績証明書」
- ・「返信用封筒」…………… 長形3号封筒（120mm×235mm）に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手110円（速達は410円）分を貼ったものとしします。

なお、配達先が外国の場合は、航空便書状25g相当の国際返信切手券（International Reply Coupon）を同封してください。

- ② 提出先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学経済科学部学務係

15 入試情報の開示

経済科学部では、第3年次編入学試験に関して入試情報の開示を行います。

開示を希望する者は、令和8年4月以降に下記ホームページにて開示される事項及び開示請求方法等について確認してください。

新潟大学経済科学部ホームページ

<https://www.econ.niigata-u.ac.jp/admissions/>



16 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び④これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学手続関係（入学料、授業料等）、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

第3年次編入学 志願者・受験者・合格者・入学者数

<経済科学部 総合経済学科>

年 度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	備 考
令和5年度	10	47	41	16	12	
令和6年度	10	24	20	16	12	
令和7年度	10	28	25	16	15	

フリガナ 氏 名				性 別		
				男・女		
生 年 月 日	(西 暦)	年	月	日 (歳)	国籍	
日本国内の 連 絡 先	住所 〒					
	電話番号 () —			携帯番号 () —		
	E-mailアドレス @					

出願資格（学歴）	区分		学校名	学校 所在国名	規定の 修業年限	在学期間	
						入学年月～ 卒業(修了)等年月	在学年・月数
	初等教育	小学校			年制	年 月～ 年 月	年 月
		中等教育	中学校			年 月～ 年 月	年 月
	高校				年 月～ 年 月	年 月	
	高等教育	大学			年 月～ 年 月	年 月	
				年 月～ 年 月	年 月		

職 歴	勤 務 先 等	在職期間
		就職年月～退(離)職年月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月

特記事項	(学歴の飛び級等特別な事情がある場合ここに記載してください。)
------	---------------------------------

- 1 年齢は、令和8年4月1日現在の満年齢を記入してください。
- 2 E-mailアドレスは、わかりやすく丁寧に記入してください。わかりにくいと思われる文字や数字には、適宜フリガナを振ってください。

〔例〕0(数字)とo(英小文字)とO(英大文字)、1(数字)とl(英小文字)、 とー

令和8年度 新潟大学経済科学部第3年次編入学志願票

				※受験番号																	
フリガナ				性別																	
氏名				男・女																	
生年月日				(西暦) 年 月 日 (満 歳)																	
出願資格				① _____大学 _____学部 _____学科・課程 昭和・平成・令和 ____年 ____月 ____日 卒業・卒業見込・__学年退学・修了(見込) ② _____短期大学 _____科 昭和・平成・令和 ____年 ____月 ____日 卒業・卒業見込 ③ _____学校 _____学科 昭和・平成・令和 ____年 ____月 ____日 卒業・卒業見込 ○ 修業年限4年以上の大学に在学中の場合は、下記の欄に出願時現在の修得済単位及び修得見込単位を記入し、併せて「在学期間・単位修得証明書」及び「科目履修証明書」を提出してください。 <table><tr><td>区 分</td><td>教養科目</td><td>専門科目</td><td>計</td><td>総修得(見込)単位</td></tr><tr><td>修得済単位</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>修得見込単位</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				区 分	教養科目	専門科目	計	総修得(見込)単位	修得済単位					修得見込単位			
区 分	教養科目	専門科目	計	総修得(見込)単位																	
修得済単位																					
修得見込単位																					
本連絡先				住所 〒 電話番号 — — 携帯電話 — — E-mailアドレス @																	
保護者等名氏連絡先				氏名 _____ 続柄 _____ (本人と同じ場合は記入する必要はありません) 住所 〒 電話番号 — —																	
				検定料納入の整理番号 																	

- (注意) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 年齢は、令和8年4月1日現在の満年齢を記入してください。
3 出願後、「連絡先」に変更が生じた場合は、速やかに経済科学部学務係へ連絡してください。
4 保護者等連絡先の欄について、外国人留学生の場合は「国内での緊急連絡先」を記入してください。
5 「連絡先」は緊急の際に必要としますので、記入してください。
6 E-mailアドレスは、わかりやすく丁寧に記入してください。わかりにくいと思われる文字や数字には、適宜フリガナを振ってください。

ゼロ オー オー イチ エル アンダーバー ハイフン
[例] 0(数字)とo(英小文字)とO(英大文字)、1(数字)とl(英小文字)、_とー
7 検定料納入の整理番号は、検定料納入フォームの自動返信メールを確認してください。

区 分		在学・在職期間	学 校 名 ・ 勤 務 先 名 等
学 歴	小学校 (初等教育)	年 月 入学 年 月 卒業	
	中学校 (中等教育)	年 月 入学 年 月 卒業	
	高等学校 (中等教育)	年 月 入学 年 月 卒業	
	高等専門学校	年 月 入学 年 月 ()	
	短期大学	年 月 入学 年 月 ()	
	大学 (高等教育)	年 月 入学 年 月 ()	
		年 月 年 月	
職 歴 等		年 月 年 月	
		年 月 年 月	
		年 月 年 月	
		年 月 年 月	

〔記入上の注意〕

- 1 履歴については、空白期間のないように記入してください。
- 2 学歴は、高等学校入学から記入してください。ただし、出願資格(8)に該当する場合は、小学校(初等教育)入学から記入してください。
- 3 在学・在職期間の()には、「卒業・卒業見込・退学・○学年修了見込」等を適宜記入してください。
- 4 事実を隠したり、偽りを記入したりすると、入学後でも入学を取り消すことがあります。

令和8年度 新潟大学経済科学部
第3年次編入学受験票

※受験番号	
志望学部	経済科学部
志望学科	総合経済学科
氏名	男女
生年月日	(西暦) 年 月 日 (満 歳)

写真貼付

写真は上半身、無帽、
正面向きとし、出願
前3カ月以内に撮影
したものを裏全面糊
付けして貼ってくだ
さい。
(縦4cm×横3cm)

受験の際は、本票を必ず携帯してください。

切り離さないでください

令和8年度 新潟大学経済科学部
第3年次編入学写真票

写真貼付

上の受験票の写真と
同じものを貼ってく
ださい。
(縦4cm×横3cm)

※受験番号	
志望学部	経済科学部
志望学科	総合経済学科
氏名	男女
生年月日	(西暦) 年 月 日 (満 歳)

※切り離さないでください

速達

郵便切手
を貼って
ください。

9 5 0 - 2 1 8 1

新潟市西区五十嵐二の町八〇五〇番地

新潟大学経済科学部学務係 御中

書留速達

「第3年次編入学願書在中」

(出願書類等提出用封筒)

志望学部		経済科学部総合経済学科	※
志願者	住所	〒 ー	
	氏名		

速達

郵便切手
410円分を
貼ってください。



「第3年次編入学試験受験票在中」
(返信用封筒)

殿

※

あて名票

- * 本学から入試に関する通知を送付するために使用します。
- * 黒のボールペンを用いて、楷書で丁寧に記入してください。

〒 - 様 ※	〒 - 様 ※
〒 - 様 ※	〒 - 様 ※

専修学校専門課程の修業年限及び 課程修了に要する総授業時数の証明書

氏 名

生年月日 昭和・平成 年 月 日

修了（見込み）学科

修了(見込み)年月日

昭和・平成・令和 年 月 日修了

修了見込

上記の者は、本専修学校専門課程において、修業年限 2 年以上かつ総授業時数 1,700 時間以上若しくは 62 単位以上の課程を修了又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みであることを証明する。

令和 年 月 日

専修学校名

学校長名

公印

所在地

電話番号

高等学校専攻科の課程修了証明書

氏 名

生年月日 昭和・平成 年 月 日

修了（見込み）専攻科

修了（見込み）年月日

昭和・平成・令和 年 月 日修了

修了見込

上記の者は、本校専攻科において、学校教育法第 58 条の 2 に定める高等学校の専攻科の課程を修了又は令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みであることを証明する。

令和 年 月 日

学校名

学校長名

公印

所在地

電話番号

※「学校教育法」第 58 条の 2・・・高等学校の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者は、文部科学大臣の定めるところにより、大学に編入学することができる。

在 学 期 間 ・ 単 位 修 得 証 明 書

入 学 年 月 日 : 平成・令和 年 月 日

氏 名 :

生 年 月 日 : 昭和・平成 年 月 日

学 部 :

学 科 :

学 年 :

上記の者は、令和8年3月31日時点で休学及び停学期間を除いて2年以上

(在学し、 ・ 在学見込みであり、) ※1

進級又は卒業要件に含まれる科目から62単位以上を

(修得した ・ 修得見込みである) ※2

ことを証明する。

令和 年 月 日

大 学 所 在 地

大 学 名

大学長(学部長)



※1 いずれかを○で囲んでください。

※2 いずれかを○で囲むとともに、「修得見込みである」の場合は、併せて科目履修
証明書（修得予定の科目名及び単位数が記載されたもの）を提出してください。